

## 新年に際して

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

弊社の社会的使命は、「マクロビオティックの普及・啓蒙」です。昨年は、弊社、もしくは小売店様が主催するセミナー（料理教室・商品勉強会・マクロビオティック入門・生産者見学会等）が年間で60回以上の開催となりました。これは週に1回のペースとなり、皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、マクロビオティックの普及活動がそれぞれの地域の健康に貢献することができたことと思います。

インターネットが普及し、誰もが簡単に情報を得ることはできますが、簡単に得ることができた情報は簡単に忘れてしまいます。

小売店様と相談し、集客し、実施したセミナーは、お客様との関係づくりや情報発信の場としても、生きた情報を皆様が得られる場としても、小売店様の活性化につながると考え、今後もより強化していきたいと考えています。

テーマはいろいろ用意していますのでお気軽にご相談いただければと思います。

さて、ニュース等では景気は緩やかに回復中など聞かれますが、実情はどうでしょうか？小売・流通市場は、人口減少に加え、高齢化による購買額の減少、少子化も影響が大きく、拡大するのは難しい市場となっています。業者・業態間による競争が激しくなり、低価格路線かブランド化かいずれかの戦略が必要となってくると考えられます。オーサフジャパンの路線はこの「ブランド化」がキーとなっています。マクロビオティックの歴史や商品のストーリー性が、より付加価値の高いイメージを創り上げていきます。一般食品メーカーが「マクロビオティック食品」を発売する時代です。消費者がマクロビオティックに触れる環境は以前より拡大していることはチャンスと思います。また高齢化社会はより健康にコストをかけられる市場の拡大を意味します。

さて、新年はどんな年になるでしょうか？

「マクロビオティックを学べるシステムを構築し、その中から育った人材（講師・小売店・生産者）が、それぞれの地域で協力しながら地域の健康に貢献する（料理教室・勉強会・店舗・メーカーなど）」そういったことを実現すべく、弊社は全力を尽くしてまいります。

本年もご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

平成30年1月

オーサフジャパン 代表取締役

勝又 遊一